

令和3年度 第2回図書館協議会

資料

令和3年12月24日(金)

柏市立図書館

次 第

- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 報告事項
 - (1) 令和3年度主要事業報告（11月まで）
 - (2) 地域資料について
- 4 令和3年度第1回柏市立図書館協議会のふりかえり
- 5 協議内容
 - (1) 情報提供「地域の資料・情報センターとしての図書館へ」
 - (2) グループワーク
- 6 その他
- 7 閉会

目 次

1 . 柏市立図書館協議会委員名簿	1
2 . 柏市教育委員会 出席職員名簿	2
3 . 令和3年度主要事業報告（11月まで）	3
4 . 地域資料について	4
5 . 令和3年度第1回柏市立図書館協議会のふりかえり	6
6 . 情報提供とグループワーク	7

1. 柏市立図書館協議会委員名簿

令和3年6月1日現在

番号	選出区分	氏名	職等	役職
1	学校教育関係者	いわなが あきこ 岩永 朗子	柏市立土中学校長	
2	〃	さきま ひろみ 笹間 ひろみ	柏市学校図書館コーディネーター	
3	社会教育関係者	はむら たいが 羽村 太雅	一般社団法人サイエンスエデュケーションラボ理事長	
4	〃	みやじま きりえ 宮島 衣瑛	一般社団法人 CoderDojo Japan 理事	
5	〃	ふじた としこ 藤田 とし子	NPO法人柏ソーシャルキャピタル協会理事長	
6	〃	たかはし ふみなり 高橋 史成	社会福祉法人柏市社会福祉協議会地域福祉課長	
7	家庭教育の向上に資する活動を行う者	つねの まさとし 常野 正紀	多世代交流型コミュニティ実行委員会代表	
8	〃	よしはら みゆ 吉原 美優	K I K A I (カシワワカモノプロジェクト) メンバー	
9	学識経験者	みうら あきひろ 三浦 章宏	元千葉県立西部図書館長 千葉県立西部図書館上席主任司書	会長
10	〃	たんま やすひと 丹間 康仁	千葉大学准教授	副会長
11	〃	ささき ひでひこ 佐々木 秀彦	公益財団法人東京都歴史文化財団事務局企画担当課長	
12	その他	はやかわ さきこ 早川 沙希子	公募委員	

(敬称略)

任期：令和3年6月1日から令和5年5月31日まで

2. 柏市教育委員会 出席職員名簿

番号	所 属	職 名	氏 名
1	生涯学習部	部 長	宮島 浩二
2	図書館	館 長	五津 和則
3	〃	統括リーダー	柳川 行秀
4	〃	副主幹	吉岡 雅美
5	〃	副主幹	千田 雅之
6	〃	副主幹	田口 和代
7	〃	主 任	大里 祥子
8	〃	主 事	木城 佳保里
9	生涯学習課	課 長	沖本 雅樹
10	中央公民館	館 長	山岡 康弘
11	文化課	課 長	田口 大

3. 令和3年度主要事業報告（11月まで）

1 本館夜間会館再開

新型コロナウイルス感染症まん延防止等重点措置の緩和に伴い、6月23日（水）から本館の夜間開館を再開しました。

2 マンデーライブラリーラボ

夏休み期間中の図書館休館日となる8月2日（月）に小学生を対象として、科学をテーマとした講座を開催しました。

参加人数 ひとしずくの水 午前14人 午後11人

チリメンモンスターをさがせ 15人

3 おびコレ2021

子ども司書がおすすめ本にオリジナルの帯をつける『おびコレ2021』の展示を、夏休みに本館で、その後、学校近くの分館で実施しました。32校から、140種類の出品がありました。展示の後、帯付きで貸出も行いました。

本館展示 8月 5日（木）～ 9月 3日（金）

分館展示 9月23日（木）～10月10日（日）

4 返却資料の72時間隔離措置の終了

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の解除に伴い、返却された資料を3日間 取り置きしていた措置を、10月1日（金）に終了しました。

5 中学生ビブリオバトル

中学生によるビブリオバトルを開催しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度もオンラインでの開催をしました。予選を10月15日（金）、20日（水）、21日（木）、22日（金）に、決勝を27日（水）に行いました。

紹介された本は、11月4日（木）から23日（火）まで、本館で展示されました。

参加校13校、人数15名

チャンプ本

『熱帯』森見登美彦／著 柏の葉中学校2年 高槌 詩さん

準チャンプ本

『100の思考実験－あなたはどこまで考えられるか－』ジュリアン・バジ
ーニ／著 富勢中学校3年 笠井釉羽さん

6 蔵書点検（本館）

11月24日（水）から12月3日（金）まで、本館で蔵書点検を行いました。
令和4年1月以降に2回に分けて17分館の蔵書点検を予定しています。

4. 地域資料について

1 市の問題意識と方向性（「地域」をテーマとした理由）

- (1) 世代交代等により、市民が保管している地域の歴史や様々な活動を記録した資料が次々に失われていることは、地域資料の収集の役割を担っている図書館として、重大な課題として認識。
- (2) これらの資料を収集・整理して次の世代に引き継ぐことは、地域の図書館の使命。
- (3) 収集対象となる地域資料は、流通する書籍に限らず、様々な形態（写真・チラシ・冊子・電子データ等）があり、地域住民自身もその価値を認識していないこともある。このため地域住民をはじめ、多様な主体と連携した収集活動が必要。
- (4) 近年では、Webのみで発信される地域情報も多く、地域の活動記録や歴史を残すためには、デジタル情報への対応が不可欠。
- (5) この資料収集活動は、地域の再発見につながるとともに、地域住民の交流や地域への愛着などを醸成するきっかけとなり、地域づくり・人づくりの手段となり得る。
- (6) また、収集した資料を活用した取り組み（館内での展示や、アクティブラーニングとの連携など）につなげるなど、事業に広がりを持たせ、より多くの人が関与する仕組みを構築していくことが重要。
- (7) 学術的な側面と、広く興味・関心を喚起する裾野を広げる取り組みの両面からの取り組みが必要。
- (8) 市内に分館が17館ある特徴を活かし、収集した資料（紙）は、その地域にある分館に集積し、各分館が地域情報の拠点として機能するよう取り組みたい。

2 地域資料（郷土・行政資料）とは

図書館資料の種類の一つで、図書館の所在する地域や自治体に関する資料。以前は、郷土史に関する資料とみなされた。地域資料ともいう。現在の公共図書館は、その地域についての資料を責任を持って収集することが業務の一つとして位置付けられており、それらのレファレンス質問に答えることも重要な業務となっている。収集対象地域には、近隣や県下を含めることもある。内容的には、郷土に関係した資料という場合と、郷土人や出身者による著書や郷土での出版物、さらに古文書や出土品などまで含める場合がある。また、行政資料を、郷土資料の一部とする場合と別に扱う場合とがある。

「地域資料」日本図書館情報学会用語辞典編集委員会
『図書館情報学用語辞典 第5版』（2020）丸善出版

地域で発生するすべての資料および地域に関するすべての資料

三多摩郷土資料研究会・根本 彰 ほか『地域資料入門』（1999）日本図書館協会

その地域で発生する情報については、その地域の公共図書館でしかできない仕事であり、その図書館が最終的な責任を持つという認識は、最近ずいぶん一般的になっている。

根本彰『情報基盤としての図書館』（2002）勁草書房

3 地域資料の収集状況

(1) 地域資料の所蔵状況（令和2年度末）

29, 223冊（全蔵書881, 187冊のうち3.32%）

(2) 行政関係の資料

- ・柏市史，沼南町史，議会議事録，各種年報等
- ・千葉県及び県内他自治体発行の各種年報類

(3) 柏市に関連する出版物等

市内在住者の著作・作品（書籍以外のもの（CD・カセットテープ，絵葉書，ビデオ等）も含む），伝記・評伝，非図書資料，地図

(4) その他の地域資料

地域誌，ミニコミ誌，タウン誌

(5) 図書館で独自に作成した資料

例：『おとなりさん』広報誌からの抜粋，

『柏市関係新聞記事索引』新聞記事索引，

『柏市地形図』国土地理院地形図を時系列に並べたもの，

『写真でみる柏の散歩道』文化課発行の『柏の散歩道』の現地写真

5. 令和3年度第1回柏市立図書館協議会のふりかえり

前回のグループワークで出された意見から、今後のテーマにつながりそうな意見を会議録から抜粋しました。

- ・地域の情報を、子どもが学校教育の中で得るだけでなく、社会人にも知ってもらえるソースとしての地域資料づくりを目指す。
- ・コロナ禍での現状の記録をどう残していくかということも課題。
- ・資料からどうやって価値を生むか。
- ・資料収集は過去だけのものか。未来へのつながりをどう作っていくか。
- ・地域資料づくりを地域の方と実践するのは、柏らしく具現化されたもの。これを広げていくことが望ましい。
- ・地域の財産としての資料がそこにあり、それを自由に手にすることにより、「無」から「有」を生める人材が柏から飛び立つような施設になったら良い。
- ・地域の資料や情報の収集活動をしたい住民がどのくらいいるのか気になる。
- ・分館が地域に多くあることが柏市の強み。
- ・学びあう地域コミュニティ。分館は本館のミニサイズではない。
- ・地域課題を解決する上で、分館ごとに特色が出ていくということが大事。
- ・つくるものとしての地域資料。

6. 情報提供とグループワーク

1 情報提供（45分）

『地域の資料・情報センターとしての図書館へ』

福島幸宏氏（慶應義塾大学文学部准教授）

2 グループワーク（60分）

3 グループ分け

（A班）岩永委員，宮島委員，高橋委員，羽村委員，三浦委員

（B班）笹間委員，藤田委員，常野委員，丹間委員，佐々木委員